

取組2 魅力ある商業の振興

取組の評価 3.2 概ね順調

＜取組2の基本方針＞
1 意欲的な事業者の支援
2 戦略的な商品販売の支援
3 魅力ある個性的な商店街づくりの推進
4 にぎわい拠点づくりの推進

【取組の目的】個性ある魅力的な商店と多種多様な買い物を楽しめる商業施設が互いに特性を発揮しあう、楽しさとにぎわいにあふれた魅力的な商業地を形成します。

『取組』に係る社会の動向と本市の現状

1 社会の動向

- ◎ 地方における車社会の進展と都市周辺の幹線道路の整備により、郊外部の交通環境は従来以上に改善されてきており、商業施設の郊外化がさらに進む状況にある。また、郊外型大規模商業店舗が、地域における商業の重要な位置を占めている。一方で、中心市街地の商店街は、駐車場整備などへの対応、魅力向上、消費者の望む価格設定や多様な品揃えなどが遅れ、中心市街地の商業は停滞・衰退の方向にあり、結果、空き店舗が増加している。
- ◎ 消費者の生活必需品の購入先動向については、コンビニエンスストアやホームセンター、ドラッグストアなどの業態店舗での購入が増加する一方、商店街等の小売店や百貨店における購入が減っており、便利さや品揃え、価格などにおいて消費者ニーズに対応した業態が販売を伸ばしている。
- ◎ スマートフォンの急速な普及も相まって、若者世代を中心にインターネットによる通信販売の利用が急拡大しており、従来型の商業施設での買い物からインターネットでの買い物へと消費者のニーズが変化している。また、高齢化の進行に伴い、交通弱者に対応した買い物拠点の整備や地域のコミュニティを支える役割など、地域住民のニーズに合った魅力的な商店街づくりが求められている。

2 本市の現状（主な取組）

- ◎ JR袋井駅前の活性化に向けた取り組みとして、袋井駅前地区の駐車場設置状況調査やホテル・マンション事業者への需要調査を実施した。また、空き店舗対策事業として、空き店舗情報を取りまとめ整理し、市のホームページへ掲載し紹介するとともに、平成24年度は2件の入居者へ、改装費や家賃の一部に対する補助金交付を行った。平成25年度は、中心市街地活性化に向けたさらなる取り組みの検討を行うとともに、県から袋井商店街協同組合へ派遣されたタウンマネージャーと連携を図りながらイベントの充実や誘客を進める。
- ◎ 商店や商品を「知ってもらう」ための支援策としては、「袋井夏まつり」「百縁笑店街」などの商店街イベント開催への補助金支援を実施するとともに、平成25年度からは、新たな取り組みとして、お店を教室に商店主が講師となり、市民を対象にした“まちゼミ”事業の「個店セミナー」を開催する。
- ◎ 市の特産品や地域資源を活用した新たな袋井おみやげの製造販売を推進し、地域ブランド力を高めることを目的に「袋井おみやげ開発プロジェクト」を進めており、平成24年度は、市内外から応募のあったアイデア275作品の中から7作品を選び、製作事業者（お菓子屋・企業・社会福祉法人等）を選定した。今後は、決定した5つの製作事業者による袋井おみやげの試作品審査や試食会などを実施し、平成26年4月の販売開始を目指す。

『取組指標』の分析と評価結果

1 取組指標の評価 【※ 実績値は、各年度末における最新数値】 評価結果の平均値（A） 2.7

＜評価基準＞ 4：達成率 ≥ 100%・前年比伸び率 ≥ 0% 3：達成率 ≥ 100%・前年比伸び率 < 0% 2：達成率 < 100%・前年比伸び率 ≥ 0% 1：達成率 < 100%・前年比伸び率 < 0%

番号	指標名	項目	現状値(計画)	H22	H23	H24	H25	H26	H27
1	商品販売額（小売業）【億円】	目標値	－	973	973	975	977	979	980
		実績値	971	971	971	971			
		達成率 伸び率	－ －	99.7 0.0	99.7 0.0	99.5 0.0			
		評価	－	2	2	2			
2	地元購買率【%】	目標値	－	61.3	61.3	61.5	61.7	61.9	62.0
		実績値	61.1	61.1	61.1	61.1			
		達成率 伸び率	－ －	99.6 0.0	99.6 0.0	99.3 0.0			
		評価	－	2	2	2			
3	空き店舗の解消件数（期間の累計）【件】	目標値	－	3	3	4	5	6	7
		実績値	3	3	4	5			
		達成率 伸び率	－ －	100.0 0.0	133.3 33.3	125.0 25.0			
		評価	－	4	4	4			
4		目標値	－						
		実績値							
		達成率 伸び率	－ －						
		評価	－						

- 【指標に影響を与えた主な要因】
- ◎ 商業販売額（小売業）：商業統計調査は5年に1回実施されている。直近のデータとしては、平成19年商業統計調査の結果を用いている。
 - ◎ 空き店舗の解消件数：空き店舗情報を市ホームページ等で紹介したことにより、新規出店者の入居に繋がった。

2 指標で表すことが困難な成果

- ◎ 近年、JR愛野駅周辺や袋井インター通り線沿い等において、個性ある魅力的な商店と多種多様な買い物を楽しめる商業施設が立地しており、他市からの集客も期待できる動きもでている。
- ◎ 袋井おみやげ開発プロジェクトの実施過程において、市民や団体が地域資源を活用したアイデアを考え提案することで、地域への愛着や良さを改めて認識するよい機会にもなっている。

『主要事業』に係る事業評価表の評価結果

1 主要事業の評価

番号	主要事業名	H24 事業費 【千円】	事業評価表の評価結果			
			有効性	効率性	廃止の影響	
1	袋井商工会議所補助事業	18,088	4	4	4	
2	浅羽町商工会補助事業	9,000	4	4	4	
3	小口資金利子補給事業	211	4	4	4	
4	短期経営改善資金利子補給事業	751	4	4	4	
5	景気対策特別資金利子補給事業	1,142	3	3	4	
6	事業資金利子補給事業	274	4	4	4	
7	中心市街地活性化推進事業	660	4	4	4	
8	商店街イベント事業	1,000	4	4	4	
9	地域振興イベント事業 （ふれあい夢市場）	2,993	3	3	3	
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
評価結果の平均値（B）		3.8	3.8	3.8	3.9	

『 取 組 』 の 有 効 性 ・ 必 要 性 ・ 緊 急 性 の 評 価 結 果

1 取組の有効性等の評価 評価結果の平均値（C） 3.0

番 号	評 価 項 目	H22	H23	H24	H25	H26	H27	コ メ ン ト 欄
1	有 効 性 4. 想定どおりの成果 3. 概ね想定どおりの成果 2. 一定の成果 1. 想定した成果なし	3	2	2				◎ 中心市街地の活性化については、駅前商店街協同組合・袋井商工会議所・地域住民等が連携し継続的にイベント等を実施しているものの、大規模商業店舗やコンビニエンスストアなどと競合する商品群では厳しく、高齢化に伴う買い物弱者への対応など商店街としての独自性が求められる。 ◎ 空き店舗情報や駅前の駐車場設置情報をホームページに公開し、補助金制度を設けることで、新規出店者の入居に繋がっているものの、空き店舗が増える傾向にあり、さらなる魅力的な店舗づくりへの支援が求められている。
2	必 要 性 4. 極めて高まっている 3. 高まっている 2. 一定程度高まっている 1. 高まっていない	4	4	4				◎ 新たなＪＲ袋井駅舎が平成２６年度に供用開始することを見据え、魅力的なまちづくりを展開すべく、街全体にストーリー性のある活性化策が必要である。 ◎ インターネットによる通信販売の利用が急拡大しており、従来型の商業施設での買い物からネットでの買い物へと消費者のニーズが変化している。車社会に対応した郊外型の商業施設といえども、今後は厳しい状況が予想される。市としても時代の変化に対応した商業振興策が必要となっている。
3	緊 急 性 4. 極めて高まっている 3. 高まっている 2. 一定程度高まっている 1. 高まっていない	4	2	3				◎ 今後、急速な進行が予想される少子高齢化を見据え、自動車を運転しない高齢者が買い物しやすい店舗展開や高齢者向けの商品を取りそろえるなど、消費者ニーズの変化に対応した商業のあり方を分析し、まちづくりに反映する必要がある。 ◎ 雇用状況も依然と厳しい状況にある中、雇用創出や市の財政基盤を支える重要な役割を担っている商業については、継続的に活性化に向けた対策が必要である。

『 取 組 』 の 総 合 評 価 と 今 後 の 展 開 方 向

1 総合評価 <評価基準> 4 ～ 3.6：順調 3.5 ～ 3：概ね順調 2.9 ～ 2：一部に改善を要する 1.9 ～ 1：全体的に改善を要する

取 組 の 評 価			コ メ ン ト 欄
3.2	概ね順調		◎ 「袋井夏まつり」「百縁笑店街」などの商店街イベントへの補助金支援や平成２５年度に新たに開催する「個店セミナー」を展開することで、個店や販売商品の魅力発信の機会を創出することに繋げている。
各評価結果の平均値			◎ 中心市街地の活性化については、駅前商店街協同組合・袋井商工会議所・地域住民等が連携し継続的にイベント等を実施しているものの、大規模商業店舗やコンビニエンスストアなどと競合する商品群では厳しく、高齢化に伴う買い物弱者への対応など商店街としての独自性が求められる。
取組指標の 評価結果（Ａ）	主要事業の 評価結果（Ｂ）	有効性等の 評価結果（Ｃ）	◎ 空き店舗情報や駅前の駐車場設置情報をホームページに公開し、補助金制度を設けることで、新規出店者の入居に繋がっているものの、空き店舗が増える傾向にあり、さらなる魅力的な店舗づくりへの支援が求められている。
2.7	3.8	3.0	

2 取組の基本方針別 今後の展開方向 <展開方向> 拡充（順調） 拡充（改善必要） 継続推進 縮小

番 号	取 組 の 基 本 方 針	H22	H23	H24	H25	H26	H27	今 後 の 展 開 方 向
1	意欲的な商業者の支援	拡充 ➡	拡充 ➡	拡充 ➡				「中心市街地空き店舗対策事業補助金」を活用し、JR袋井駅前地区における魅力的な新規出展者を増やす。中心市街地活性化に向けたさらなる取り組みの検討を行うとともに、平成２５年度に県から袋井商店街協同組合へ派遣されたタウンマネージャーと連携を図りながらイベントの充実や誘客施策を進める。
2	戦略的な商品販売の支援	拡充 ➡	拡充 ➡	継続推進 ➡				商品の販売力強化のため、ＩＣＴを活用したインターネット販売を推進するとともに平成２６年４月に販売開始する袋井おみやげプロジェクトを軌道に乗せ、地域ブランド力を高めるとともに６次産業化の可能性にもつながるような戦略的な販売支援を行う。
3	魅力ある個性的な商店街づくりの推進	継続推進 ➡	継続推進 ➡	拡充 ➡				地域住民主導による個性的な商店街づくりを進めるため、駅前商店街協同組合や商工会議所等と連携しながら、お店を教室に店主が講師となり、市民を対象にしたセミナー講座「個店セミナー」を開催する。
4	にぎわい拠点づくりの推進	継続推進 ➡	継続推進 ➡	継続推進 ➡				平成２６年度に供用開始する新たなＪＲ袋井駅舎を活かした、駅前地区のにぎわい拠点づくりを進める。また、「袋井夏まつり」「百縁笑店街」などの商店街イベントを支援することで、個店や販売商品の魅力発信だけでなく、賑やかな活気のある拠点づくりへと繋げていく。
5								
6								

【その他留意事項】